

若築建設株式会社

# 2026年3月期 決算説明会資料

2026年5月21日

# 目次

<b>1</b>	<b>当社グループの概要</b>	当社の概要	P.4
		10か年業績推移(連結)	P.5
		麻生グループとの連携について	P.6
<b>2</b>	<b>2026年3月期の決算概要</b>	決算サマリー 損益等の状況	P.8
		セグメント別の状況(単体)	P.9
		受注高の推移(単体)	P.14
		次期繰越高の推移(単体)	P.15
		財政状態及びキャッシュフローの状況(連結)	P.16
		当期の主な受注・完成工事	P.17
		<b>3</b>	<b>2027年3月期の通期業績予想</b>
		2027年3月期 通期セグメント別予想(単体)	P.24
		資本効率性・株主還元について	P.25
<b>4</b>	<b>中期経営計画《2024-2026》 の進捗状況</b>	Sustainability I 市場での持続可能性向上	P.27
		Sustainability II 組織の持続可能性向上	P.32
		Sustainability III 社会の持続可能性向上	P.34
		数値目標	P.36

# 1. 当社グループの概要

# 当社の概要

<b>商号</b>	若築建設株式会社 (WAKACHIKU CONSTRUCTION CO.,LTD.)
<b>東京本社</b>	東京都目黒区下目黒二丁目23番18号
<b>本店</b>	北九州市若松区浜町一丁目4番7号
<b>創立</b>	1890年(明治23年)5月23日
<b>代表者</b>	代表取締役社長 長廻 幹彦
<b>売上高</b>	連結：1,047億円 単体：1,017億円 (ともに2026年3月期)
<b>従業員数</b>	連結：1,056名 単体：964名 (ともに2026年3月31日現在)
<b>資本金</b>	113億7千4百万円
<b>株式上場</b>	東京証券取引所プライム市場 【証券コード1888】
<b>連結子会社</b>	3社： 新総建設株式会社、大丸防音株式会社、株式会社都市空間

## 事業内容

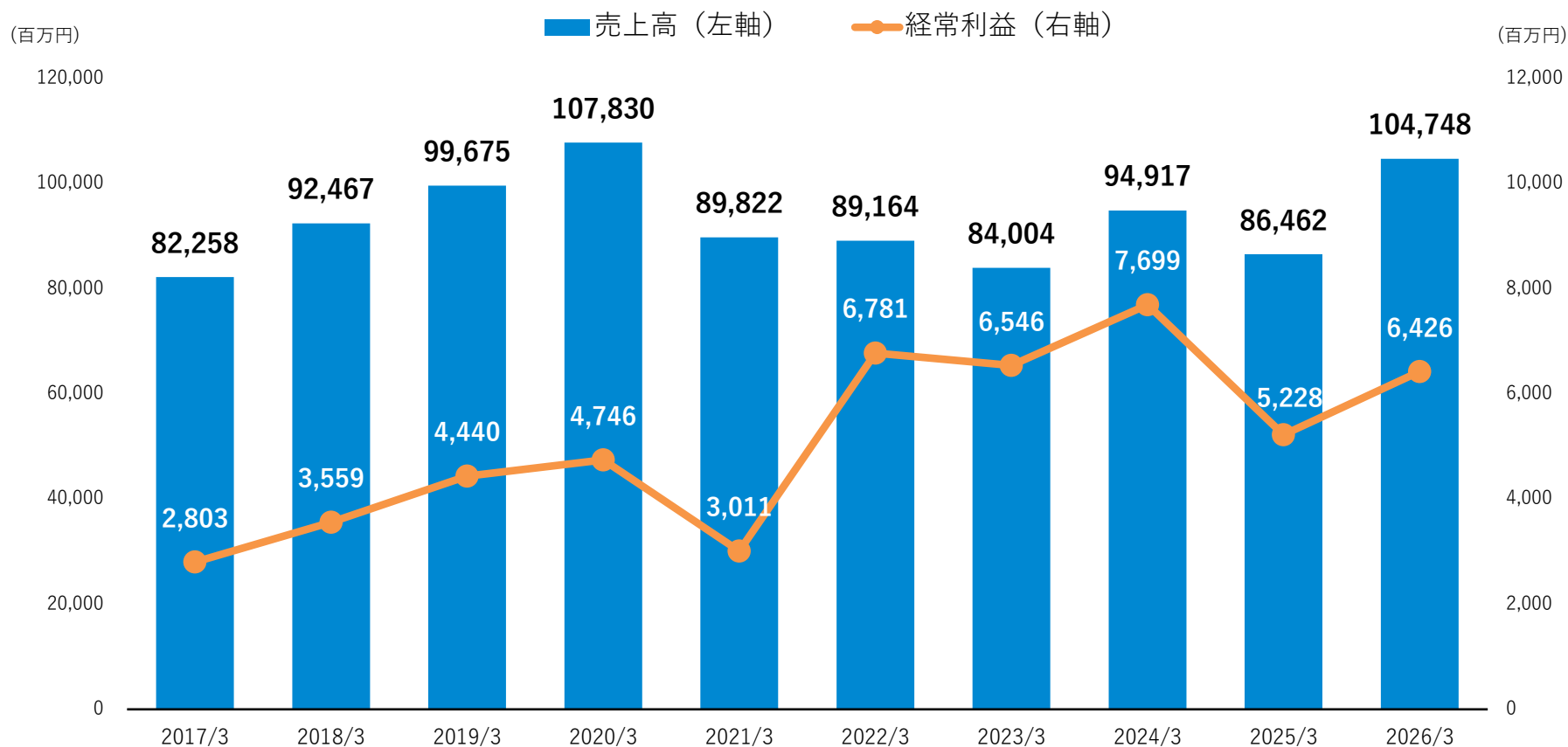
国内・国外建設工事、海洋開発、地域・都市開発、環境整備・保全およびその他建設に関する事業、建設コンサルティング、マネジメント事業、不動産事業



# 10か年業績推移

連結

- ・ 売上高は大型工事の進捗が進み 1,047 億円
- ・ 経常利益は売上高の増加に伴い 64 億円



## 麻生グループとの連携について

若築建設は、株式会社麻生とその100%子会社であるACVEホールディングスと資本業務提携契約※を締結すると共に、株式会社麻生らによる公開買付※の実施により、株式会社麻生の連結子会社となりました



ASO  
G R O U P



WAKACHIKU

若築建設

※公開買付・資本業務提携契約締結の概要

<https://pdf.irpocket.com/C1888/YpwX/aJVv/L3iU.pdf>



## 2. 2026年3月期の決算概要

# 決算サマリー 損益等の状況

単体
連結

- ポイント1 ▶ 受注高は昨年度比23.1%の1,279億円の水準となった。
- ポイント2 ▶ 売上高は1Qは出遅れたが2Q以降は順調に推移し、前年度比21.7%増の1,017億円となった。
- ポイント3 ▶ 営業利益は、売上高増による売上総利益の増加で30.5%増の62億円となった。

		2025/3		2026/3		前年比 増減率 (%)
		金額 (百万円)	対売上高比率 (%)	金額 (百万円)	対売上高比率 (%)	
連結	売上高	86,462	—	104,748	—	21.1
	売上総利益	12,728	14.7	14,602	13.9	14.7
	販管費	7,508	8.7	7,952	7.6	5.9
	営業利益	5,220	6.0	6,649	6.3	27.4
	経常利益	5,228	6.0	6,426	6.1	22.9
	親会社株主に帰属する 当期純利益	3,690	4.3	4,367	4.2	18.4
単体	受注高	104,009	—	127,986	—	23.1
	売上高	83,636	—	101,776	—	21.7
	売上総利益	11,925	14.3	13,821	13.6	15.9
	販管費	7,141	8.5	7,576	7.4	6.1
	営業利益	4,783	5.7	6,244	6.1	30.5
	経常利益	4,876	5.8	6,104	6.0	25.2
	当期純利益	3,566	4.3	4,253	4.2	19.3
	ROE		8.1%		9.0%	

ポイント1
ポイント2
ポイント3

# セグメント別の状況 概要 単体

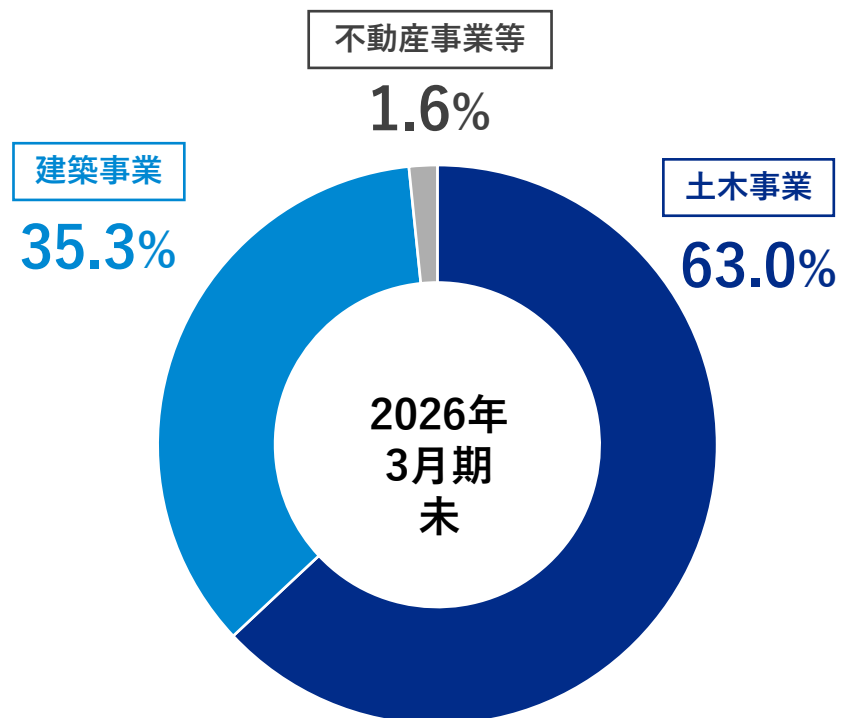
## 売上高 (百万円)

	2025/3	2026/3	増減率 (%)
完成工事	82,233	100,120	21.8
土木	54,748	64,143	17.2
建築	27,485	35,976	30.9
不動産事業等	1,402	1,656	18.1
合計	83,636	101,776	21.7

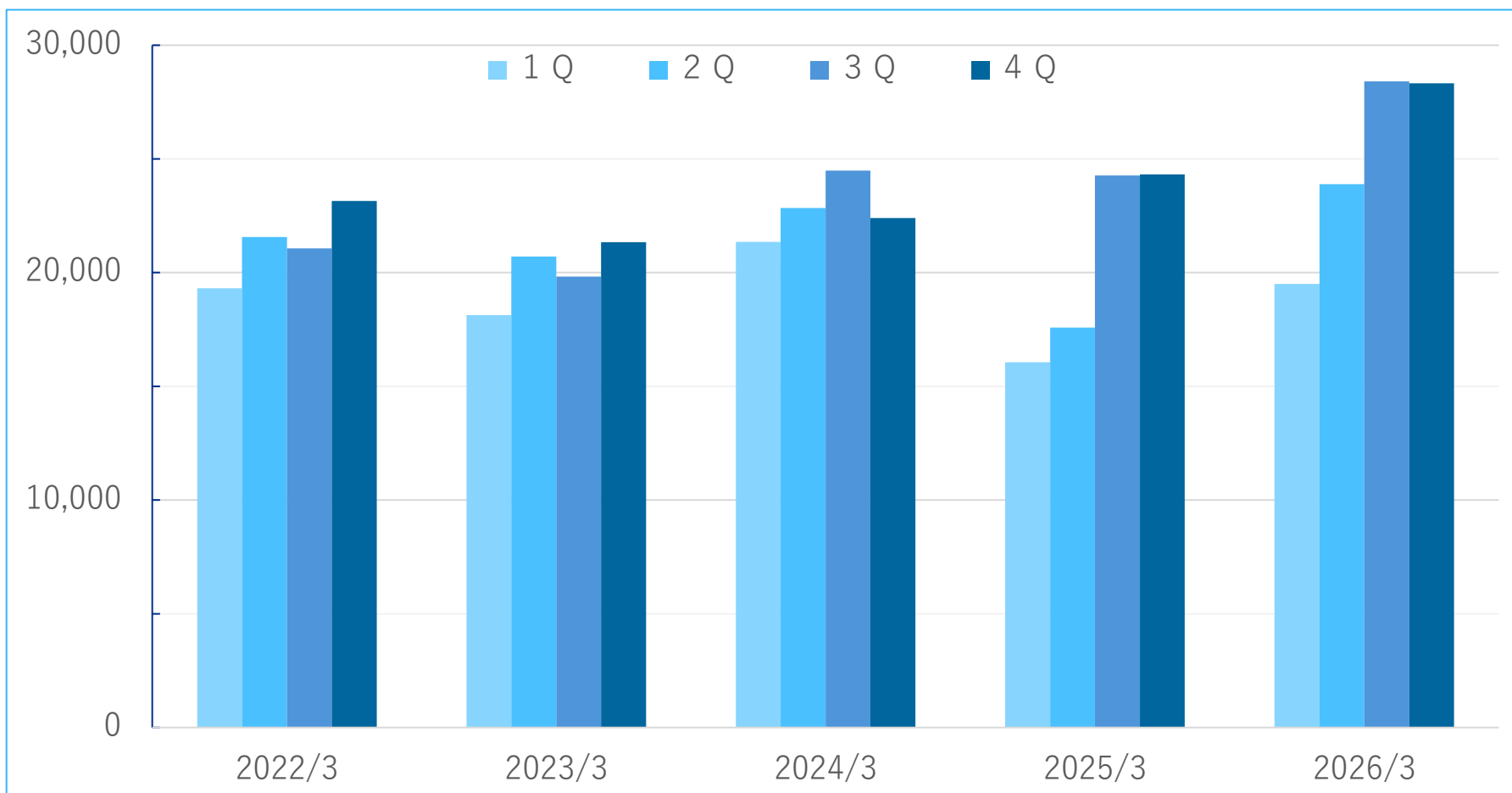
## 売上総利益 (百万円)

	2025/3	2026/3	増減率 (%)
完成工事	11,644	13,541	16.3
土木	9,448	9,122	△3.4
建築	2,196	4,419	101.2
不動産事業等	280	279	△0.4
合計	11,925	13,821	15.9

## セグメント別売上高割合



# セグメント別の状況 四半期別完成工事高推移 単体



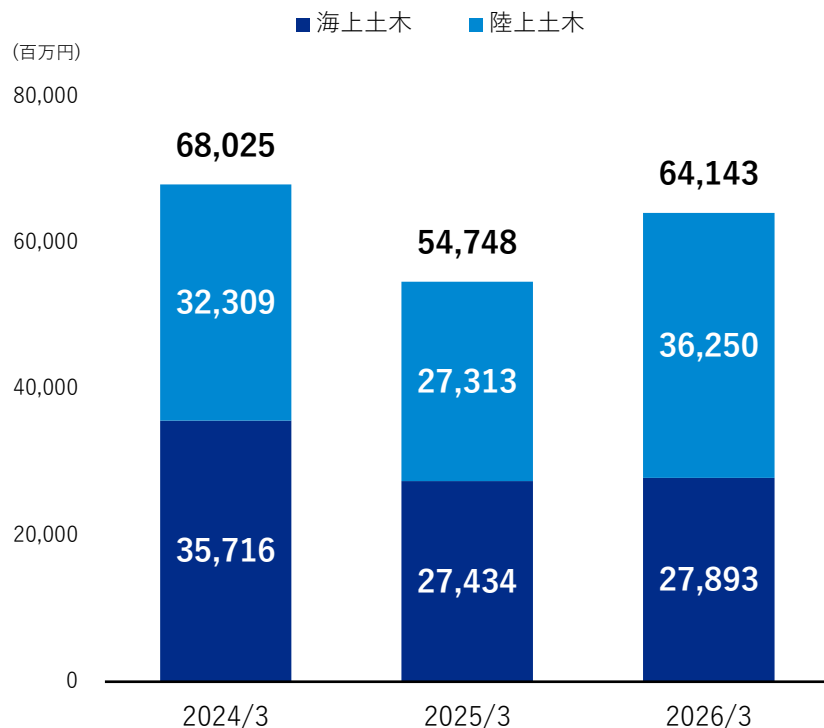
## 年度別完成工事高推移

2025年度は 第1四半期は出遅れたが、第2四半期以降、大規模工事が順調に進捗し  
第3、4四半期については過去5年では最高の水準で推移した

# セグメント別の状況 ①土木 単体

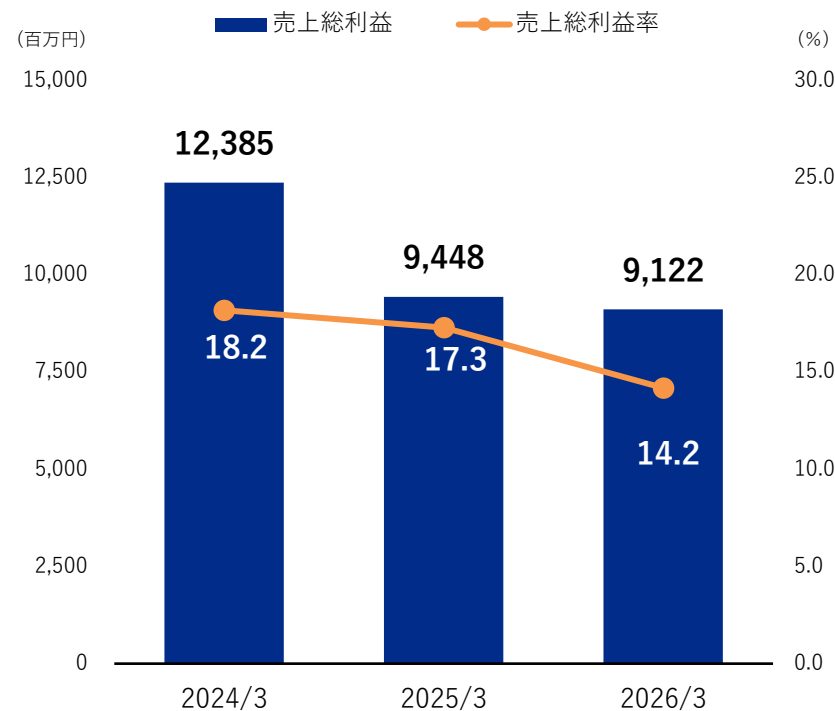
## 売上高

- 陸上土木は大型工事の進捗が進み昨年度比32.7%増となった



## 売上総利益

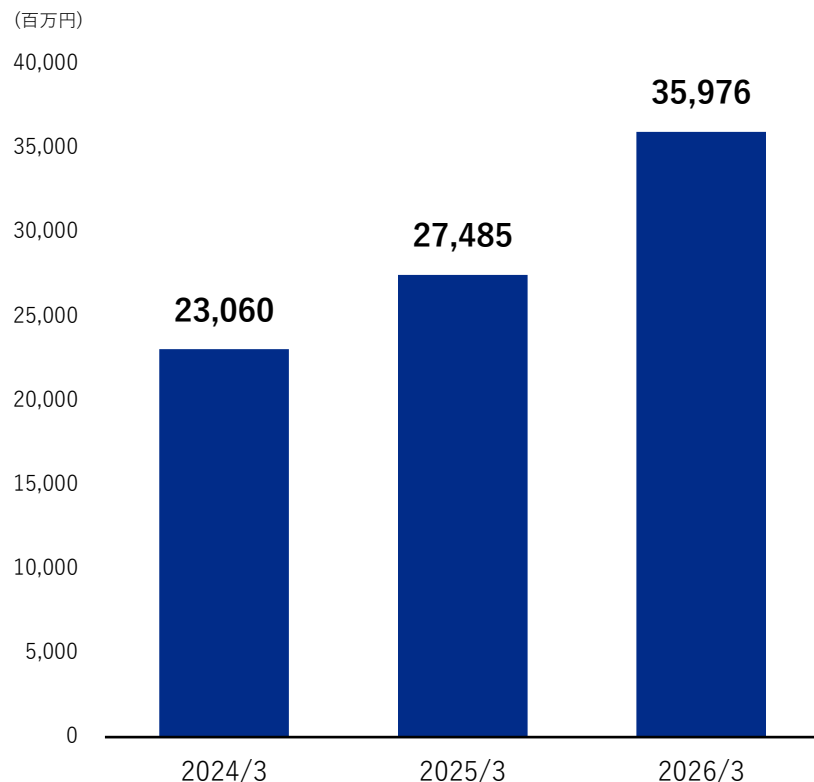
- 陸上土木工事は、大型工事での工期の延長等の影響で、利益率は3.1ポイントマイナスとなった



# セグメント別の状況 ②建築 単体

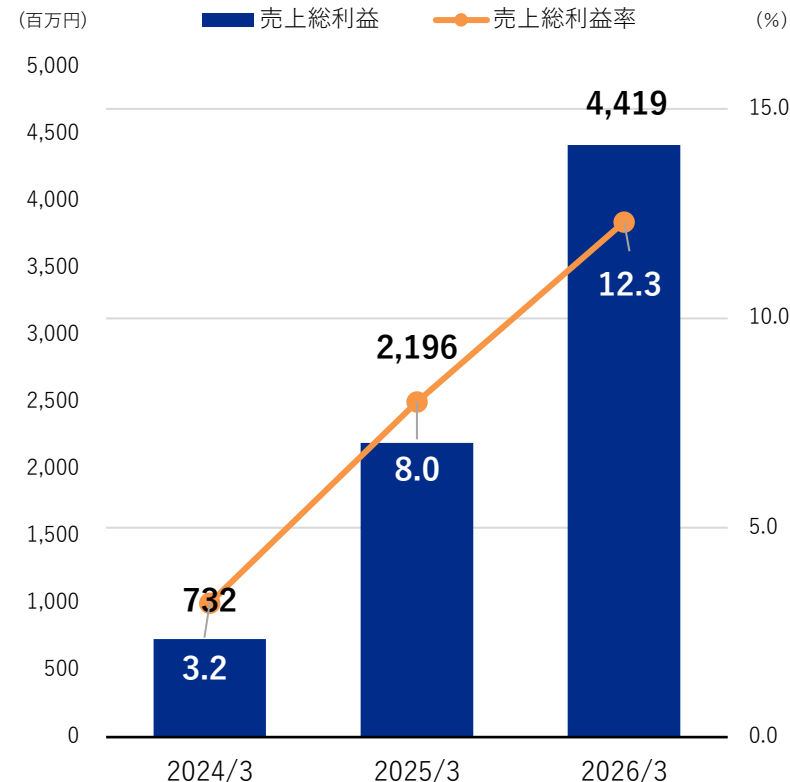
## 売上高

- 売上高は、大規模工事が順調に進捗し、前年度比30.9%増



## 売上総利益

- 売上総利益は売上高の増加に伴い、101.2%増となった
- 売上総利益率は工事規模の拡大による生産性の向上により、12.3%となった

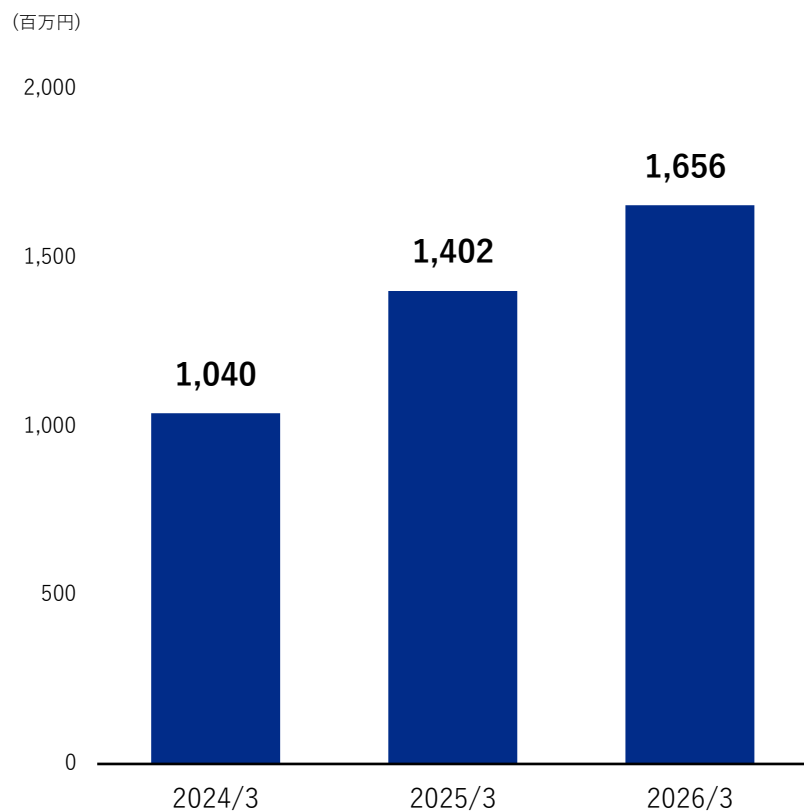


# セグメント別の状況 ③不動産事業等

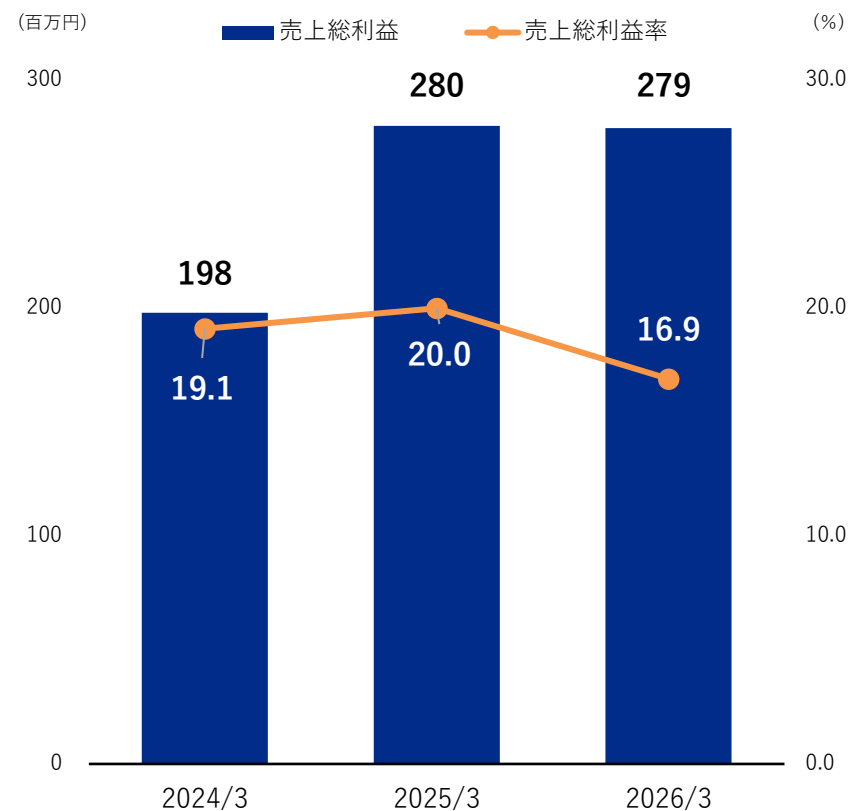
単体

## 売上高

- 売上高は、前年同様、海上運搬業務並びに不動産事業の計上により、前年比18.1%増の1,656百万円



## 売上総利益



# 受注高の推移(セグメント別)

単体

ポイント1 ▶ 受注高は国内官庁土木、国内建築が増加し、前年比23.1%増加の1,279億円

ポイント2 ▶ 海外で港湾工事・病院建設工事を獲得し、56億9,300万円

ポイント3 ▶ 国内官民構成比：官庁 54.2%、民間 45.8%

## 受注高 (百万円)

		2024/3	2025/3	2026/3	前年比増減率 (%)
国内建設事業計	官庁	67,047	54,747	<b>66,149</b>	20.8
	民間	31,855	46,881	<b>55,968</b>	19.4
	計	98,902	101,628	<b>122,117</b>	20.2
国内土木	官庁	48,642	42,728	<b>47,443</b>	11.0
	民間	9,162	22,945	<b>20,109</b>	△12.4
	計	57,804	65,674	<b>67,552</b>	2.9
国内建築	官庁	18,405	12,018	<b>18,706</b>	55.6
	民間	22,692	23,935	<b>35,858</b>	49.8
	計	41,098	35,954	<b>54,565</b>	51.8
海外		762	861	<b>5,693</b>	560.7
開発事業等		1,208	1,519	<b>175</b>	△88.5
合計		100,873	104,009	<b>127,986</b>	23.1

ポイント3

ポイント2

ポイント1

# 次期繰越高の推移(建設事業)

単体

**ポイント1** ▶ 次期繰越高は受注が好調で、前年度比22.8%増の1,492億円となった

**ポイント2** ▶ 海上土木の次期繰越高は、前年度比76.8%増の281億円となった

## 総括表(建設事業)

(百万円)

		2024/3	2025/3	2026/3	前年比増減率 (%)
受注高	海上土木	25,806	28,519	<b>40,102</b>	40.6
	陸上土木	32,760	38,016	<b>30,745</b>	△19.1
	建築	41,098	35,954	<b>56,963</b>	58.4
	合計	99,665	102,490	<b>127,811</b>	24.7
完成工事高	海上土木	35,716	27,434	<b>27,893</b>	1.7
	陸上土木	32,309	27,313	<b>36,250</b>	32.7
	建築	23,060	27,485	<b>35,976</b>	30.9
	合計	91,086	82,233	<b>100,120</b>	21.8
次期繰越高	<b>海上土木</b>	14,810	15,894	<b>28,104</b>	76.8
	陸上土木	40,952	51,655	<b>46,150</b>	△10.7
	建築	45,578	54,048	<b>75,034</b>	38.8
	合計	101,341	121,598	<b>149,289</b>	22.8

**ポイント2**

**ポイント1**

# 財政状態及びキャッシュフローの状況

連結

## 要約連結貸借対照表

- 自己資本比率は44.1%

(百万円)

		2025/3	2026/3
資産の部	流動資産	70,253	<b>98,185</b>
	固定資産	21,636	<b>24,238</b>
	資産合計	91,890	<b>122,423</b>
負債の部	流動負債	37,830	<b>58,719</b>
	固定負債	4,202	<b>8,944</b>
	負債合計	42,032	<b>67,664</b>
純資産の部	株主資本	43,998	<b>47,632</b>
	その他の包括利益累計額	4,323	<b>6,363</b>
	非支配株主持分	1,535	<b>763</b>
	純資産合計	49,858	<b>54,759</b>
負債純資産合計		91,890	<b>122,423</b>

## 要約連結キャッシュフロー計算書

- 未成工事受入金などの増加により、営業活動CFは大幅に改善

(百万円)

	2025/3	2026/3
営業活動キャッシュ・フロー	△10,211	<b>477</b>
投資活動キャッシュ・フロー	△1,854	<b>△1,162</b>
財務活動キャッシュ・フロー	6,399	<b>7,086</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	<b>19</b>
現金及び現金同等物の増減額	△5,674	<b>6,421</b>
現金及び現金同等物の期首残高	18,891	<b>13,217</b>
現金及び現金同等物の期末残高	13,217	<b>19,638</b>

# 2026年3月期 主な受注工事

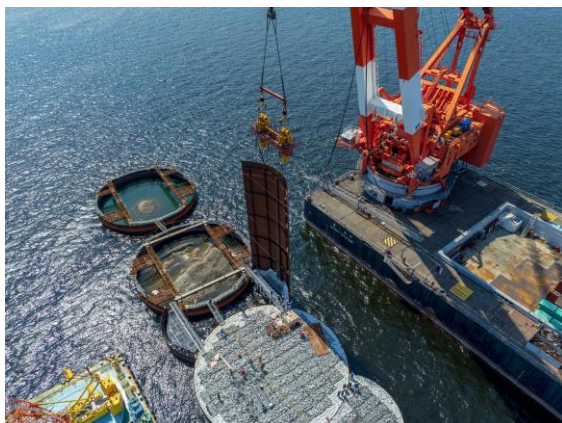
	契約者	工事名	工事場所
海上土木	国土交通省東北地方整備局	酒田港外港地区岸壁(-12m)築造工事	山形県
	国土交通省中部地方整備局	令和7年度名古屋港新土砂処分場埋立護岸基礎工事(その2)	愛知県
	国土交通省四国地方整備局	高知港海岸湾口地区津波防波堤築造工事(その2)	高知県
	国土交通省九州地方整備局	令和7年度鹿児島港(鴨池中央港区)臨港道路橋梁下部工(P11)工事	鹿児島県
陸上土木	にかほグリーンエナジー合同会社	鳥海水力発電所建設工事	秋田県
	国土交通省関東地方整備局	令和7年度東京国際空港P誘導路他地盤改良工事	東京都
	農林水産省九州農政局	筑後川下流右岸農地防災事業徳永線(早津江工区(その3))水路改修工事	佐賀県
建 築	株式会社ブリヂストン	小平新試験棟新築工事	東京都
	昭島セントラルロジスティック特定目的会社	A L F A L I N K 東京昭島2プロジェクト	東京都
	福智町	(仮称)福智町総合体育館建設工事	福岡県

# 2026年3月期 主な完成工事

	契約者	工事名	工事場所
海上土木	株式会社J-POWERハイテック	大間原子力発電所新設工事 航路・泊地維持浚渫工事	青森県
	国土交通省中部地方整備局	令和7年度名古屋港新土砂処分場埋立護岸基礎及び余水吐設置工事	愛知県
	三菱ケミカル株式会社	【F K 1 4 3】無機1、2、3号埠頭解体	福岡県
陸上土木	環境省	令和7年度飯舘村除染及び仮置場復旧等工事	福島県
	国土交通省関東地方整備局	R4久慈川右岸上大賀地区整備工事	茨城県
	国土交通省九州地方整備局	令和6年度福岡空港用地造成工事	福岡県
建 築	千代田エクスワンエンジニアリング株式会社	LEGOプロジェクト	群馬県
	東日本高速道路株式会社	千葉東金道路千葉東IC管理施設改築工事	千葉県
	西日本鉄道株式会社 株式会社長谷工不動産	(仮称)大野城市白木原二丁目計画 新築工事	福岡県
	学校法人福原学園	九州共立大学 鶴鳴記念館改修工事	福岡県

# 2026年3月期 主な完成工事

## 海上土木



### 工事概要

- 工事名 : 令和6年度 横浜港新本牧地区岸壁(-18m) (耐震) 築造工事
- 発注者 : 国土交通省関東地方整備局
- 請負者 : 若築・りんかい日産・大本特定建設工事共同企業体
- 施工場所 : 神奈川県横浜市中区本牧ふ頭地先他
- 工期 : 2024年6月 ~ 2026年3月
- 目的 : 横浜港新本牧地区岸壁(-18m)(耐震)の海上地盤改良工、基礎工、本体工(セル式)、付属工、仮設工、共通工及び調査工を施工



YouTube公式チャンネルにて工事記録動画を公開中  
[https://www.youtube.com/@wakachiku\\_official](https://www.youtube.com/@wakachiku_official)

# 2026年3月期 主な完成工事

## 陸上土木



### 工事概要

工事名 : R 5 東関道両宿地区改良工事

発注者 : 国土交通省関東地方整備局

請負者 : 若築建設株式会社

施工場所 : 茨城県行方市両宿

工期 : 2023年10月 ~ 2025年11月

工事内容 : 東関東自動車道水戸線において、道路土工・軽量盛土工等を施工

掘削工=940<sup>m</sup><sup>3</sup> 路体盛土工=158,200<sup>m</sup><sup>3</sup> 路床盛土工=11,100<sup>m</sup><sup>3</sup>

法面整形工=13,120<sup>m</sup><sup>3</sup> 自走式土質改良工=19,700<sup>m</sup><sup>3</sup> 等

# 2026年3月期 主な完成工事

## 建築



### 工事概要

工事名 : 令和3年度九州自動車道北熊本S A休憩施設改築工事

事業者 : 西日本高速道路株式会社

請負者 : 若築建設株式会社

施工場所 : 熊本県熊本市北区改寄町塚ノ本町

工期 : 2022年5月 ~ 2025年9月

目的 : フラットで利用しやすい、熊本観光の締めくくりのエリアをコンセプトに九州自動車道上下線の北熊本サービスエリアの施設建築・解体工事・造成工事等を施工

敷地面積 20,455.82㎡ 建築面積 4,210.87㎡

## 3. 2027年3月期の業績予想

**2027年3月期 通期業績予想**
**単体**
**連結**

	2026/3		2027/3		前年比 増減率 (%)	
	金額 (百万円)	対売上高比率 (%)	金額 (百万円)	対売上高比率 (%)		
<b>連結</b>	売上高	104,748	—	<b>116,000</b>	—	10.7
	営業利益	6,649	6.3	<b>7,100</b>	<b>6.1</b>	6.8
	経常利益	6,426	6.1	<b>6,500</b>	<b>5.6</b>	1.1
	親会社株主に帰属する 当期純利益	4,367	4.2	<b>4,400</b>	<b>3.8</b>	0.7
<b>単体</b>	受注高	127,986	—	<b>115,000</b>	—	△10.1
	売上高	101,776	—	<b>113,000</b>	—	11.0
	営業利益	6,244	6.1	<b>6,700</b>	<b>5.9</b>	7.3
	経常利益	6,104	6.0	<b>6,200</b>	<b>5.5</b>	1.6
	当期純利益	4,253	4.2	<b>4,300</b>	<b>3.8</b>	1.1

# 2027年3月期 通期セグメント別予想

単体

## 売上高

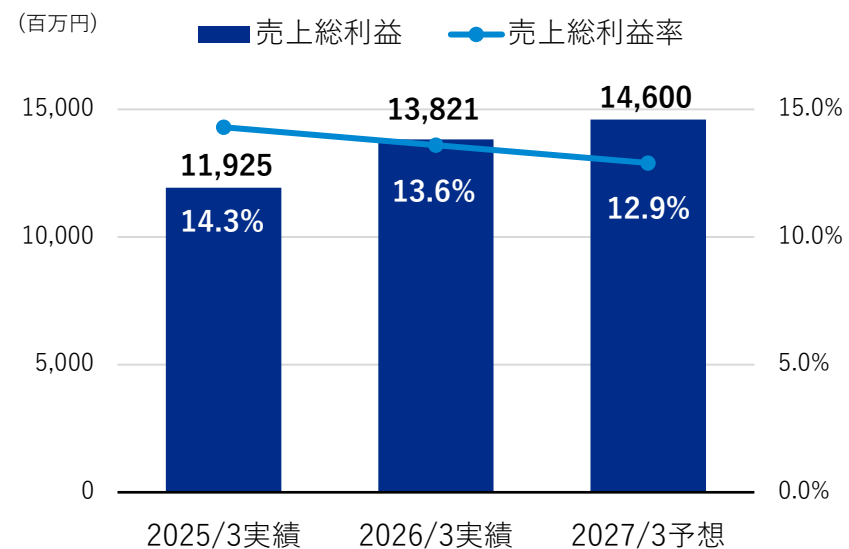
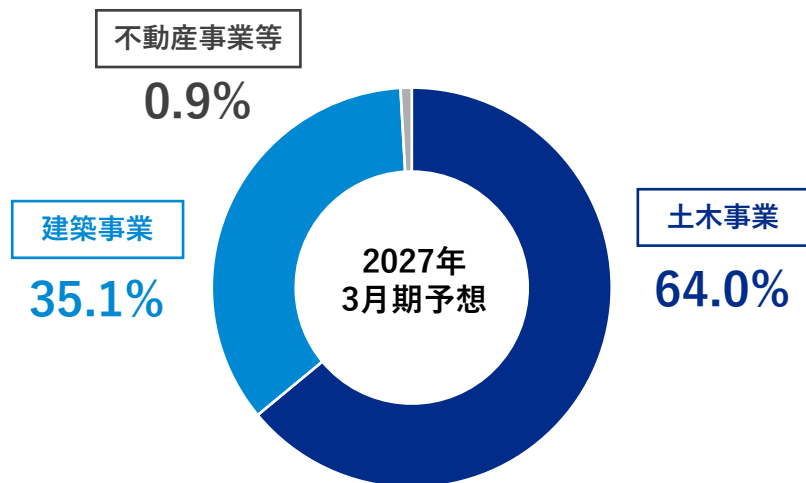
(百万円)

	2026/3 実績	2027/3 予想	増減率 (%)
完成工事	100,120	<b>112,000</b>	11.9
土木	64,143	<b>72,300</b>	12.7
建築	35,976	<b>39,700</b>	10.3
不動産事業等	1,656	<b>1,000</b>	△39.6
合計	101,776	<b>113,000</b>	11.0

## 売上総利益

(百万円)

	2026/3 実績	対売上高比率 (%)	2027/3 予想	対売上高比率 (%)	増減率 (%)
	13,541	13.5	<b>14,400</b>	<b>12.9</b>	6.3
	9,122	14.2	<b>10,320</b>	<b>14.3</b>	13.1
	4,419	12.3	<b>4,080</b>	<b>10.3</b>	△7.7
	279	16.9	<b>200</b>	<b>20.0</b>	△28.4
	13,821	13.6	<b>14,600</b>	<b>12.9</b>	5.6



# 資本効率性・株主還元について

## 資本効率性

2027年3月末のROE 9.0%維持を目標とし、「安定的かつ積極的な株主還元」と「効果的な設備投資」を実施

## 株主還元方針

DOE 3.6%を下限とし配当性向40%以上

## 株主還元

2026/3  
配当予定

135円 (1株当たり)

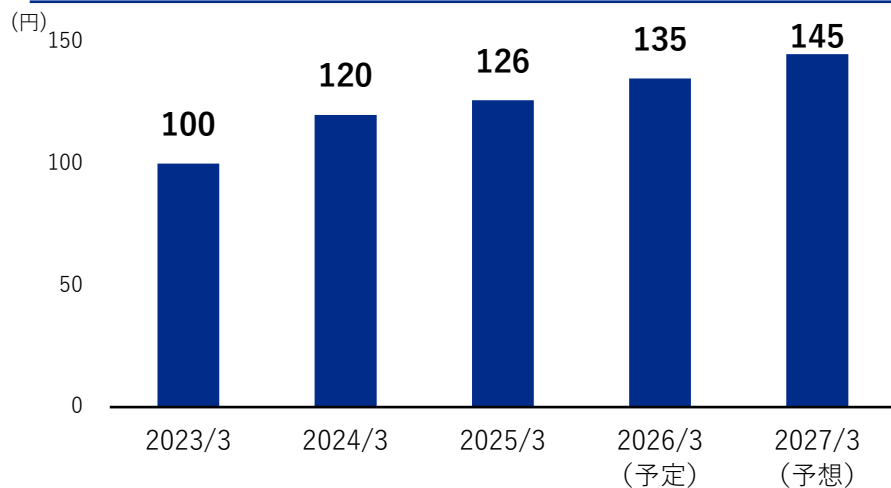
DOE 3.6% (単体)  
配当性向 40.4%

2027/3  
配当予想

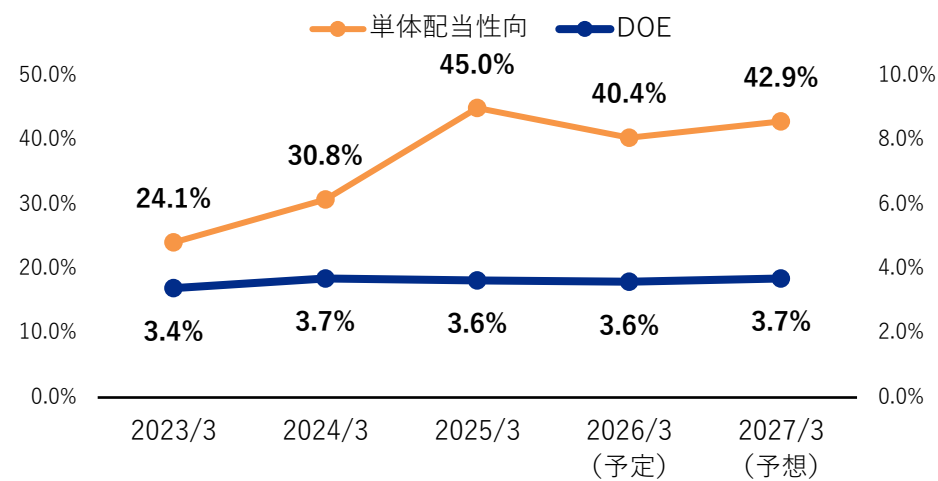
145円 (1株当たり)

DOE 3.7% (単体)  
配当性向 42.9%

### 1株当たり配当金



### 単体配当性向 / DOE



## 4 .中期経営計画《2024-2026》の進捗状況

## 事業戦略 — 各部門の強みをいかした事業展開による案件の大規模化・高収益化

## 事業戦略の6本柱

官庁  
土木

- ・ **インフラ整備**  
羽田空港耐震工事など国土強靱化関連工事を複数獲得
- ・ **港湾整備**  
横浜港・名古屋港などでWTO関連工事を複数獲得
- ・ **防衛関連工事**  
護岸整備工事等を獲得。今後も大型事業に対応

官庁  
建築

- ・ **防衛関連工事**  
大型工事を複数受注
- ・ **公共施設大型案件への取組**  
福岡県福智町で総合体育館建設を獲得
- ・ **顧客満足度の向上**  
北熊本SA工事では、高い工事評価点を獲得

海外  
事業

- ・ **ODA案件**  
ミクロネシア連邦で港湾拡張工事  
東ティモールで病院建設を獲得
- ・ **人材育成**  
外国人技術者を積極的に雇用、体制の強化を目指す。

民間  
土木

- ・ **再生可能エネルギー**  
陸上風力・小水力発電施設工事を受注  
バイオマス発電への取組は継続
- ・ **民間設備投資**  
民間の岸壁施設工事、航路浚渫工事を獲得  
造船業等、国家成長戦略に関する事業への取組を強化  
土木・建築一体で大型案件への取組を加速

民間  
建築

- ・ **大型プロジェクトへの取組**  
物流倉庫・工場で大型案件を獲得  
生産性向上へ大型案件への取組を更に加速  
少子高齢化社会に対応した福祉施設等への取組を強化
- ・ **組織の拡充**  
建築設計部を新設し、幅広い顧客ニーズにえられる体制を整備

不動産  
事業

- ・ **安定収益賃貸資産への投資を継続**  
現有資産の組替を実施  
優良案件への投資を今後も推進
- ・ **現有資産の有効活用**  
保有不動産の活用・整備・売却

# 事業戦略 — 新エネルギー分野への事業展開

## 洋上風力発電事業のキープレイヤーとして

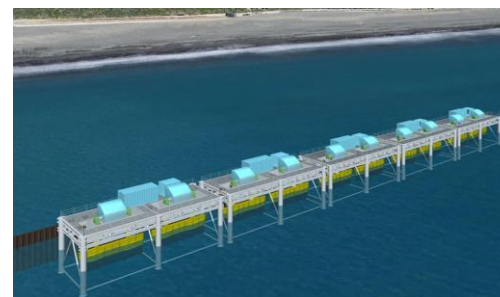
- 洋上風力拠点整備事業への参画  
山形県酒田港において、洋上風力発電設備の大型資機材に対応した地盤改良を含む岸壁築造工事を受注し施工中。2027年3月竣工予定。



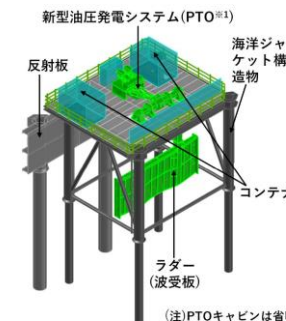
- 6社で共同保有する「JWFC SUNRISE」が2027年に国内入港予定
- FLOWCON(浮体式洋上風力建設システム技術研究組合)にてFLOWRA(浮体式洋上風力技術研究組合)との技術検討を実施
- スパー式浮体大型化(15MW級)の建造、施工WGに参加

## その他の再生可能エネルギー事業

- 新型油圧発電システムを用いた波力発電装置の実証実験に参画



波力発電ファームコンセプト  
(東京大学生産技術研究所提供)



新型波力発電装置完成予想図  
(中部電力プレスリリース)  
(注)PTOキャビンは省略

- 鳥海水力発電所事業への参画  
場 所：秋田県にかほ市奈曾川  
事 業 者：にかほグリーンエネルギー合同会社  
(若築建設株式会社 10%出資)  
発 電 出 力：999.9kW  
想定年間発電量：一般家庭約1,240世帯分  
(約1,941 t分のCO2排出削減に相当)  
資金調達：グリーンローン活用
- 遊休地有効利用の一環として蓄電所発電事業参入に向けての勉強会を実施

## 生産性向上／研究開発

## 施工の効率化に向けた研究開発

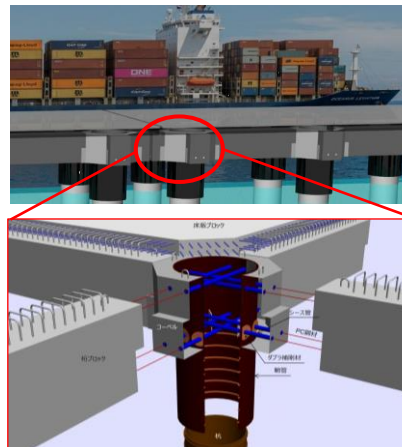
## 実績

- DC-PC栈橋（プレストレス接合栈橋上部工構造）の開発
- 蛍光X線による改良地盤の早期品質確認システム開発
- ジャケット式栈橋における杭打設管理システムの開発
- AIを活用した水温制御式パイプクリーニングシステムの高度化
- 埋設管AR管理システムの導入

## 新規・継続

- ケーソン据付システムの半自動化
- コンクリート締固め深さ検知センサーの開発
- SCP造成時リアルタイム可視化システムの開発
- LiDARによる面的隆起管理システムの開発
- DC-PC栈橋の更なる機能開発

## DC-PC栈橋



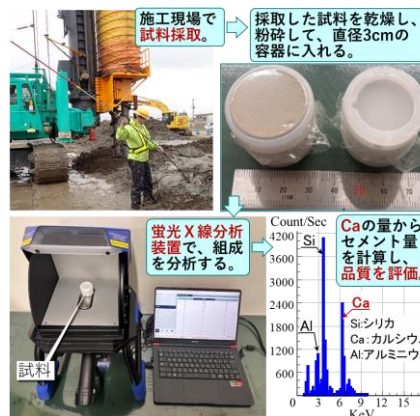
## 構造的特徴

- 全主要部材がプレキャストコンクリート製
- 上部工の軽量化で杭本数を削減

## 従来工法との比較

- RC栈橋に比べ工期を**33%短縮**  
海上工事では**35%短縮**
- PCa製作で作業人員の**11%省人化**  
海上上工事で作業人員を**62%省人化**
- CO2排出量を**10%低減**

## 蛍光X線による改良地盤の早期品質確認システム



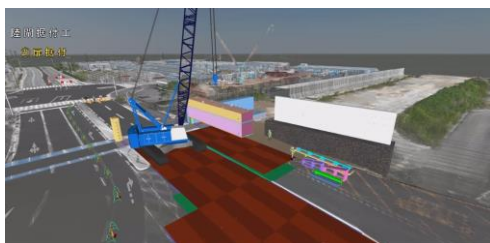
- セメント系地盤改良工事において、配合不良や攪拌不足等による、改良土の**品質低下を防ぐシステム**
- 地盤改良の**施工直後**に、**施工現場**で、**迅速かつ簡便**に、改良土のカルシウム（Ca）含有率からセメント改良土の**品質を評価**
- 分析に必要な試料は50g程度と少なく、分析時間は45分程度と短いため、**多くの箇所に対して実施可能**。
- 改良土が固まる前に品質を評価できるため、**施工の手戻りを防止でき、品質確保と生産性向上を両立**できる

## 生産性向上／研究開発

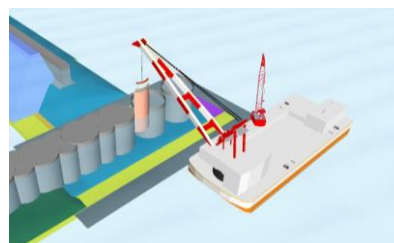
## 現場ICTの浸透と深化

## 土木

- 点群技術を活用した3次元空間を意識した設計の充実
- 設計成果データシステム「Arc Suite」の導入完了
- BIM/CIM対応の内製化を実現し、数多くの案件に対応
- 遠隔臨場システム導入によるリアルタイムな情報共有の実現
- 衛星通信技術による通信環境整備を複数現場で実施

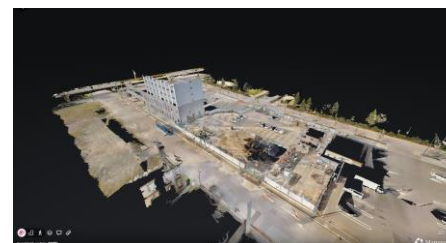


BIM/CIM対応の内製化と自動化

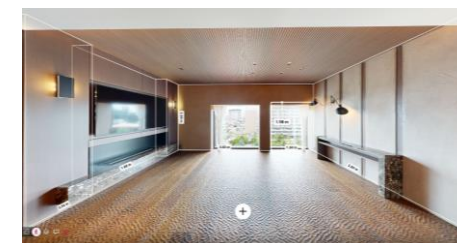


## 建築

- 支持層推定アプリを開発・導入し各現場にて活用中
- デジタルツイン化する3Dスキャナを導入し、着工前・竣工後の記録保存を実施
- 新設したBIM支援室により、現場での3Dデータの活用が進み、工事の円滑な進捗が実現



デジタルツイン化3Dスキャナ



## 市場ニーズにもとづく研究開発

## 実績

- 栈橋下面調査用ボートの開発
- バイオマス灰の浚渫土砂改質材等有効利用に関する研究開発

## 新規・継続

- 外洋向けROVの調査研究
- 防砂シート敷設工法の開発

## 港湾構造物点検ボート『UP(Under Pier)-mini』

撮影画像から作成した3Dモデル  
(栈橋下面の梁)

# 投資計画の進捗状況 / IR強化

## 投資状況

投資分野	計画	2024年度 (実績)	2025年度 (実績)	2か年 合計
<b>設備投資</b> 船舶機械、収益用不動産など	150億円	8.7億円	2.0億円	10.8億円
<b>研究開発</b> 地盤、コンクリート、海上施工・ICT施工関連、環境分野など		5.6億円	8.6億円	14.3億円
<b>DX投資</b> ICT機器、基幹システムの合理化など		2.5億円	6.6億円	9.1億円
<b>人材投資</b> 階層別研修、奨学金制度、採用強化など		4.9億円	6.9億円	11.8億円
<b>計</b>		21.8億円	24.3億円	46.1億円

## 実績

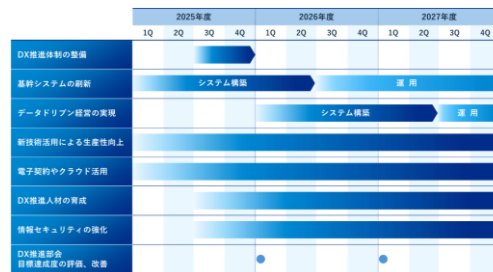
- AI水温制御パイプクーリングシステム**  
 酷暑環境でも効率的にコンクリートの冷却可能  
 送水ポンプ発停の遠隔操作・自動化を実現
- 支持層推定アプリの開発**  
 杭施工時に支持層を推定するアプリを開発。  
 直感的な操作性で生産性の向上を実現



AI水温制御パイプクーリングシステム

## 予定

- 12,000トフローティングドック建造(実施中)**  
 2027年度の完成を目指して建造、環境負荷の低減と生産性向上、安全性向上を見込む。
- データアーキテクチャ構想着手**  
 2026年度より、社内データの一元化を目指し、データプラットフォームの構築を開始。



DX推進基本スケジュール

## IR強化

- 決算説明会の開催**  
 機関投資家説明会 2025年5月  
 2026年5月  
 個人投資家説明会 2025年8月  
 (日本証券新聞社 主催)



- 投資家との対話**  
 年間32回実施
- サステナビリティ外部評価**



# 人的資本経営



## 働きがい 働きやすさの実現

- **健康経営の実践**
  - ◆ 健康経営推進計画・数値目標を設定
    - ・有給取得率向上、男性育児休業取得率向上、喫煙率低減、朝食欠損率低減 等
- **休暇制度の拡充**
  - ◆ 「配偶者出産休暇」「ウェルネス休暇」「エル休暇」の新設
- **クラブ活動の充実**
  - ◆ 現在29クラブ 359名が参加
- **外部評価の取得**
  - ◆ 「健康経営優良法人2026」「スポーツエールカンパニー2026」「ハタラクエール2026福利厚生推進法人」



剣友会



## 人材の確保

- **採用活動の強化**
  - ◆ 人材開発課を中心に積極的に技術者目線での会社魅力の発信力を強化
    - ・2026年卒新入社員は74名に（前年比42%増）、2027年度新入社員は80名を目標とする
- **優秀な人材獲得を目指して初任給を引上げ**
- **地域限定職員制度運用開始**
  - ◆ 子育てや介護が必要な社員のための柔軟な職員制度を運用開始
- **経験豊富なシニア人材の仕事力を引き出すための更なる待遇向上**



## 人材の育成

- **資格取得支援**
  - ◆ 教育プログラム「はぐくみ」により技術士・1級土木施工管理技士・1級建築施工管理技士の合格者増加
- **各種研修会の実施(土木・建築・事務)**
  - ◆ 各種技術、階層・世代別研修等を積極的に実施
    - ・「技術の伝承講習会」「建設DX人材育成eラーニング」「建築設計・施工事例発表会」「構造設計勉強会」等
    - ・現場技術者へのAI活用教育を計画
- **新入社員・若手教育の充実**

# 働き方改革／サプライチェーンの連携強化

## 働き方改革

### DX推進基本計画の策定・DX認定の取得

#### DX認定の取得

2026年3月にDX認定を取得

- DX推進基本方針・計画を策定

※DX認定制度とはデジタルガバナンス・コードの基本的事項に対応する企業を国が認定するものです。



<p><b>1 経営理念達成への寄与</b> 経営層と現場が一体となり、デジタル技術を活用することで組織変革を推進し、経営理念の実現に寄与します</p>	<p><b>2 生産性の向上</b> 業務の自動化やデジタルツールの導入を積極的に進め、社員一人ひとりの付加価値を高め、生産性を向上し、働きやすい環境を実現します</p>
<p><b>3 データ資産の有効活用</b> これまで蓄積されたデータやナレッジを集約・分析し、意思決定の高度化や新たな価値創造につなげます</p>	<p><b>4 IT技術革新への対応</b> AI、IoT、BIM/CIMなどの最新技術を積極的に導入し、技術革新に柔軟に対応する企業風土を醸成するとともに、各部署でDX推進の中核となる人材を育成します</p>
<p><b>5 情報セキュリティの強化</b> サイバー攻撃や情報漏えいリスクに備え、強固なセキュリティ体制を構築します。同時に継続的に社員教育を行い、安全・安心な事業運営を確保します</p>	

2025年11月1日  
若築建設株式会社  
代表取締役社長 鳥田克彦

DX推進基本方針



DX推進について  
(若築建設HP)



### 現場支援体制の充実

#### 土木

- 生産性向上のための教育の充実
- 現場施工管理の効率化に資するデジタル技術の推進  
書類作成支援(AI施工計画書作成支援等)の充実

#### 建築

- 新設したBIM支援室による現場支援充実
- 新規ソフトウェア、AI技術導入による職員の負担軽減



### 適正工期の確保

#### 土木

- 官庁工事：ガイドラインに基づく適正工期の確保を実現
- 民間工事：見積時に休日確保適正工期設定を提示し受注

#### 建築

- 「適正工期宣言」により完全週休二日を推進

## サプライチェーンの連携強化



### 協力会社組織の連携強化

- サプライチェーン向け行動規範の開示
- 経営層と協力会社組織との合同安全パトロールを実施



### 共存共栄に向けた連帯姿勢の表明

- 「建設技能者を大切にせる企業の自主宣言」を発表

## ガバナンス強化

## ガバナンスの強化

- 連結子会社化に伴うガバナンス体制の強化

- ガバナンス体制の見直し

連結子会社化に伴い、独立性の高いガバナンス体制を確保するための検討を開始

- 利益相反管理の徹底

社外取締役による特別委員会を設置し、親会社との取引に対する利益相反管理の透明性・公平性を確保する

- 上場維持基準の維持

流通株式比率の継続的な確認と必要な資本施策の実施

- リスクマネジメントの強化

- サイバーセキュリティ対策

サイバーセキュリティ外部評価を実施  
優先度に応じた対策を実施

- グループ全体での強化

サイバーセキュリティ研修の実施  
サイバー攻撃等インシデント発生時の対応体制を構築予定

## 安全かつ良質なインフラの提供

## 安全かつ良質なインフラの提供

- 能登半島地震での災害復旧工事への取組

## 宇出津港復旧工事

宇出津港(宇出津地区)物揚場(4.0m)(災害復旧)改良外1件工事

工期：2024年11月～2027年3月

宇出津港の物揚場・臨港道路の復旧工事



## 能越自動車道・のと里山海道復旧工事

R 6 能越道横田徳田大津道路復旧その4 工事

工期：2024年7月～2026年10月

国道470号能越自動車道復旧工事



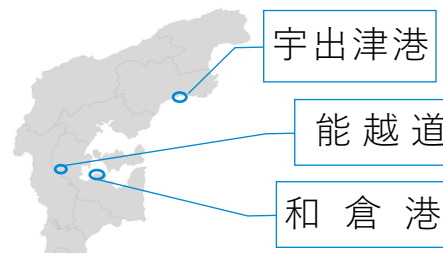
## 和倉港復旧工事(2件)

和倉港・和倉港海岸護岸(西工区)(災害復旧)改良工事

和倉港・和倉港海岸護岸(東工区)(災害復旧)改良工事

工期：2024年11月～2027年3月

和倉港・和倉港海岸の復旧工事



# 建設業の担い手確保／地域貢献／カーボンニュートラルに向けて

## 建設業の担い手確保

### ・ 産学官連携教育プログラム

2017年より産官学連携人材プログラムを継続実施  
今年度は30名の学生に奨学金を支給  
現場見学・懇談会を開催し海洋技術の魅力を発信

### ・ インターンシップ制度の充実

2025年度は土木・建築併せて95名の学生を受入  
今後も可能な限りの受入を実施予定

## 地域貢献

### ・ 和倉温泉護岸工事見学会の開催

和倉温泉復興牡蠣まつりに合わせて開催された  
国土交通省能登港湾空港復興推進室主催の和倉  
温泉護岸工事見学会に、当社は施工者として協  
力。当日は、300名が参加しました



## カーボンニュートラルに向けた対応

### ・ SBT認定取得

GHGガス排出量削減目標を再設定

- ①2030年度までにSCOPE1・2で42%削減(2024年度比)
- ②同期間内に絶対値ベースのSCOPE3で25%削減

### Validation Statement



NEAR-TERM AND NET-ZERO SCIENCE-BASED TARGETS

*SBTi Services has validated that the greenhouse gas emissions reduction target(s) submitted by WAKACHIKU CONSTRUCTION CO.,LTD. conform with the SBTi Criteria and Recommendations (Near-Term Criteria V1.0 and Net-Zero Criteria V1.3).*

**The official validated target language:**

**Near-Term**  
WAKACHIKU CONSTRUCTION commits to reduce absolute scope 1 and 2 GHG emissions 42.0% by FY2030 from a FY2024 base year. WAKACHIKU CONSTRUCTION also commits to reduce absolute scope 3 GHG emissions 25.0% within the same timeframe.

DATE OF APPROVAL: 14th November, 2025

© SBTi Services Limited is a limited company registered in England and Wales (15181058). sciencebasedtargets.org sbtiservices.com  
Registered address: 66 Lincoln's Fields, London, WC2A 3LH.  
SBTi Services Limited is a wholly owned subsidiary of Science Based Targets Initiative.

### ・ EcoVadis コミットメント・バッジ 獲得

### ・ CDP気候変動スコア Cを獲得

### ・ エコ・ファースト企業としての活動

e c o 検定取得者数 361名 (137名増)  
取得率 44.1%  
(2028年までに90%の取得率を目指す)

# 数値目標

## 決算数値目標(単体)

	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想値 (中計目標値)
<b>受注</b>	1,039億円	1,279億円	1,150億円 (1,100億円以上)
<b>売上高</b>	836億円	1,017億円	1,130億円 (1,100億円以上)
<b>営業利益</b>	47億円	62億円	67億円 (65億円以上)
<b>純利益</b>	35億円	42億円	43億円 (45億円以上)
<b>ROE</b>	8.1%	9.0%	8.5% (9.0%以上)

## 非財務情報のKPI

### 2030年までの目標値 / 2025年3月時点の実績値

施工段階における GHG排出量 2013年度比 <b>40%減</b> 60.4%減 (2024実績)	再エネ関連施設建設 年間発電量累計  <b>100億kWh</b>  41.9億kWh	作業生産性を20%UP させる技術開発  <b>15件以上</b> 完成8件 (開発中7件)
--	--	---

### 2026年度目標値 / 実績値推移(24年度⇒25年度)

ワークエンゲージ メントスコア  <b>2.70</b> 2.62 ⇒ <b>2.65</b> (全国平均2.52)	土曜閉所率  <b>100%</b> 61.4% ⇒ <b>70.2%</b>	採用者数  <b>80名/年</b> 64名 ⇒ <b>90名</b>
新卒女性 採用比率  <b>30%</b> 14.8 ⇒ <b>17.3%</b>	男性育児休暇 取得率  <b>100%</b> 50.0% ⇒ <b>36.4%</b>	投資家・アナリストとの ミーティング回数  <b>30回/年</b> 15回 ⇒ <b>32回</b>

# 長期ビジョン2030

## サステナビリティの追求 ～創業140周年に向けて～

「品質・安全」を核とした施工をベースに3つの持続性を追求

Sustainability I  
市場での持続性



- 企業価値の向上
- 安定した株主還元

Sustainability II  
組織の持続性



- アフターコロナの事業継続力
- 社員の満足度向上

Sustainability III  
社会の持続性



- 地域への社会貢献
- 地球環境問題への対応

2030  
すべての  
ステークホルダーの  
期待に応えられる  
企業

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

WAKACHIKU 若築建設

創業140周年

### 中期経営計画

Phase1 (2021-2023)

事業基盤の強化と  
ESG経営の推進

Phase2(2024-2026)

ステークホルダーとの連携強化  
による持続可能性の追求

Phase3(2027-2029)

問合せ先

# 若築建設株式会社

東京本社 経営企画部

TEL:03-3492-0308

FAX:03-3492-1785

〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-23-18

## 免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がある点にご留意ください。